

さいたま市立浦和博物館館報

VOL. 34-2

あかんさす

通号 第 91 号

ACANTHUS : BULLETIN OF SAITAMA MUNICIPAL URAWA MUSEUM

特別展「戦国時代のさいたま —城と館からさぐる—」を開催して

平成17年4月にさいたま市と岩槻市が合併し、10番目の区、岩槻区が誕生しました。本年度秋の特別展は、さいたま市・岩槻市合併記念事業として、平成17年10月8日(土)から11月27日(日)まで、さいたま市立博物館(大宮区高鼻町2丁目)と共同で「戦国時代のさいたま—城と館からさぐる—」を開催しました。

城というと全国各地の観光名所が思い起こされがちですが、市内には岩槻城という知られた大きな城をはじめ、支城の寿能城など中小規模の城や館が数多く点在していました。伝承しか残されていないものもありますが、近年、区画整理などを原因とする発掘調査により、これらの城や館から具体的な資料(建物跡・堀跡や陶器・カワラケなどの出土品)が見つかったり、逆に知られていなかった館跡が発見されたりしています。

この展示会は、さいたま市立博物館と当館が岩槻のイメージの一つである「城」をテーマに、合併を記念にした事業を共同で開催しようと計画し、まず「中世の城館跡」をキーワードに話し合いました。その後、中世を戦国時代に絞り込み、身近なところにも「戦国時代」や「城・館」の痕跡が残されていることと、当時の「さいたま」の市域が密接に繋がりがあった点を知ってもらうことを目的とし、市内の同時代の城館跡を主に出土品とともにとりあげ、展示することにしました。

さいたま市立博物館と共同で開催するのは、平



成13年秋のさいたま市誕生記念特別展「さいたま市の指定文化財～歴史を語る珠玉の名品～」以来2回目でした。同じ展示を時期を変えて行う巡回展ではなく、今回も前回のように一つの展示会を二つの会場に分けて開催する分割方式で行いました。同時期に同じテーマで内容の違う展示を行う

■ 目 次 ■

特別展「戦国時代のさいたま—城と館からさぐる—」を開催して	1
行事カレンダー・日誌抄	4



ことは、当館としては大宮や岩槻方面の来館者に、市立博物館（大宮区）としては浦和や岩槻方面の来館者に足を運んでもらい、各々の博物館の存在や特徴を知っていただければとの思いがありました。ただし、双方を来館できない場合を考え、どちらか一館を覗きだけでも展示がある程度完結するようにしました。

さいたま市立博物館を第1会場とし、ここでは岩槻城（岩槻区）を中心に城の周辺地域や支城である寿能城（大宮区）も含めて、築城から天正18年(1590)の落城までを、岩槻太田氏や小田原北条氏などの関連文書、岩槻城内からの出土品などで展示しました。また補足的に「白鶴城（岩槻城別称）の由来」や「岩槻城落城」など岩槻城に係る伝承・伝説、更に近隣市町の代表的な城（騎西城・川越城・松山城・鉢形城等）の紹介を行いました。

第2会場の当館では2階展示スペースの7割ほどを使い、岩槻城と寿能城を除いた戦国時代の市内全ての「城」や「館」を、現況写真・発掘調査写真や案内図、そして出土品で紹介しました。展示は、まず時代背景や勢力図といった基本情報を最初にパネルを用いて紐解いておきました。これは大宮の第一会場も同じです。

次に今回対象となった中小規模の館や城の分布図をパネルにて表示しました。その数は実に29箇所及び、岩槻城・寿能城を入れると図1のように31箇所となりました。

内訳を見てみると、やはり岩槻区が一番多い傾向が見てとれます。また地形的には台地上の縁辺部に築かれている場所が多く、更に主要な道路や河川またはそれらが交差する箇所などの交通の要所に位置しているものが多いです。

これらの「城」や「館」は主に2つの点から抽出しています。一つ目はかつてその地にあったことが文献や伝承などで残っている場合です。しかし伝承だけの場合は、その場所に本当に痕跡があるのか、時代や時期があっているのかなど不明な点が残ったままの状態です。

二つ目は現況の地形や遺構（土塁）も含め、発掘調査の成果など現地から得られた情報に基づいているものです。しかしながらこれだけだとその地に館があったことは判明するものの、誰の館でどのような歴史を経てきたのかが分かりません。

一番良いのは、この二つがそろっていることです。いつ頃、どのくらいの規模の誰の城や館で、どのような経緯があるのかが分かるわけです。た

図1. 戦国時代の城・館

	城館跡名	所在地	調査	伝承
1	岩槻城	[岩槻区]太田3丁目ほか	○	○
2	府内3丁目遺跡	[岩槻区]府内三丁目	○	○
3	渋江鑄金遺跡	[岩槻区]村国	○	○
4	新堀	[岩槻区]平林寺・馬込	○	
5	馬込五番遺跡	[岩槻区]馬込	○	
6	佐枝氏館	[岩槻区]日の出町	○	○
7	慈恩寺館	[岩槻区]慈恩寺・裏慈恩寺	○	
8	西原遺跡	[岩槻区]西原	○	
9	丸ヶ崎館	[見沼区]丸ヶ崎	○	
10	伊達氏館	[見沼区]大和田1丁目	○	○
11	春日氏館	[見沼区]南中丸	○	○
12	松野氏館	[見沼区]御蔵	○	○
13	土呂陣屋	[北区]土呂町	○	○
14	寿能城	[大宮区]寿能町		○
15	金子山	[西区]高木		○
16	水判土館	[西区]水判土		○
17	今宮館	[中央区]鈴谷4丁目ほか	○	
18	真土館	[中央区]鈴谷7丁目	○	
19	御屋敷山	[中央区]円阿弥2丁目	○	○
20	小村田館	[中央区]本町東7丁目	○	
21	内道館	[中央区]上峰2丁目	○	○
22	新畑館	[中央区]上峰4丁目	○	○
23	代山城	[緑区]代山		○
24	北宿遺跡	[緑区]三室	○	

	城館跡名	所在地	調査	伝承
25	鶴巻遺跡	[緑区]大門	○	
26	太田窪堀の内	[南区]太田窪	○	
27	弾正屋敷	[南区]白幡4丁目		○
28	白幡本宿遺跡	[南区]白幡2丁目	○	
29	本村遺跡	[桜区]下大久保	○	
30	大久保領家遺跡	[桜区]大久保領家	○	
31	宿宮前堀の内	[桜区]宿	○	

※「調査」には現況（土塁）や試掘を含む

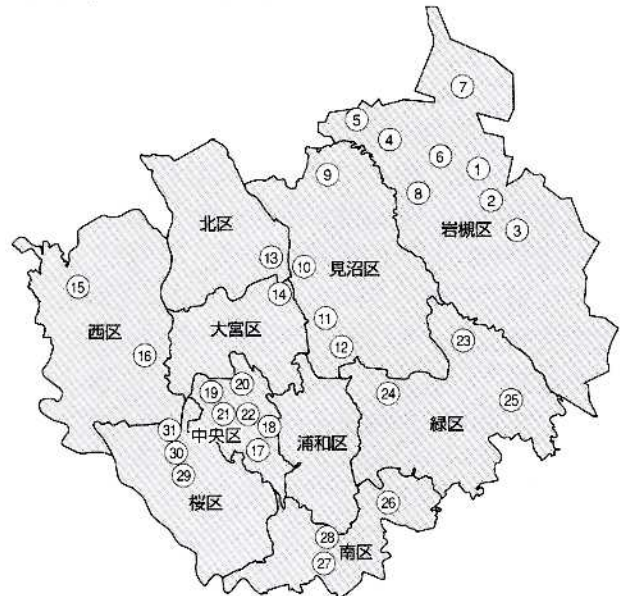


表1. 展示品

※遺跡名左側の番号は、図1の番号と同じ

2	府内3丁目遺跡出土	青磁(碗)、白磁(碗)、陶器(天目茶碗・皿・搥鉢)、在地系土器(内耳土鍋・搥鉢)、瓦質土器(火鉢)、瓦、カワラケ
3	渋江鍔金遺跡出土	青磁(盤)、陶器(鉢・搥鉢・卸皿・甕)、在地系土器(内耳土鍋・焙烙・搥鉢)、カワラケ、羽口、板碑
5	馬込五番遺跡出土	青磁(碗)、陶器(天目茶碗・皿)、在地系土器(搥鉢)
9	丸ヶ崎館出土	陶器(天目茶碗・鉢・皿・甕・搥鉢)、在地系土器(内耳土鍋・羽釜・焙烙・搥鉢)、カワラケ、硯、砥石、銅銭
10	伊達氏館出土	青磁(碗)、陶器(甕)、在地系土器(焙烙・搥鉢)、カワラケ、つぶて、刀子、碁石、鉄砲玉
13	土呂陣屋出土	陶器(小壺、天目茶碗・卸目付大皿・皿・搥鉢)、在地系土器(焙烙・搥鉢)、カワラケ、碁石、茶臼
17	今宮館出土	陶器(天目茶碗・皿)・銅製弁・銅銭・手燭
28	白幡本宿遺跡出土	陶器(天目茶碗・皿)、在地系土器(搥鉢)、カワラケ
29	本村遺跡出土	陶器(天目茶碗・甕)、在地系土器(搥鉢)、瓦質土器(香炉)、カワラケ
30	大久保領家遺跡出土	青磁(碗)、陶器(天目茶碗・碗・皿・甕)、刀子、小柄(柄・飾り金具)、小札
近隣	西通1遺跡出土(上尾市)	青磁(碗・鉢)、白磁(皿)、陶器(天目茶碗・皿・盤・甕・搥鉢)、在地系土器(片口鉢・内耳土鍋・焙烙)、カワラケ、小札、分銅、留め金具

だし図1のとおり現在のところ全体の3分の1程度しかありませんし、各々の情報量の少なさや精度の低さから、まだまだ分からない点が多いのが現状です。例えば古文書や歴史的経緯から場所や規模などがある程度分かっている岩槻城でさえ、現況から絵図と比較するのは大変です。部分的ではありますが発掘調査により、詳細な位置や細部の遺構などが徐々に明らかになってくるにしたいが、情報量や精度が上がってきていますので、今後の成果に期待をしています。

さて話は変わりますが、今回の展示には「城」だけでなく「館」も含ませたわけですが、そもそも「城」と「館」の違いを一言で言うと、「城」は戦いのための施設で、「館」は居住のための施設です。ただし両方の性格を持つものも考えられ、一概には言えないようです。

歴史的にみると平安時代後期、武士の台頭により、その地を支配する要として屋敷を土塁と堀で方形に区画するようになります。これが「館」で、

居住を目的としますが、執務の場にもなりました。鎌倉時代末期から南北朝時代の争乱にかけて防衛機能が高められ、二重の土塁や深い堀に囲まれた「館」へと進展しました。

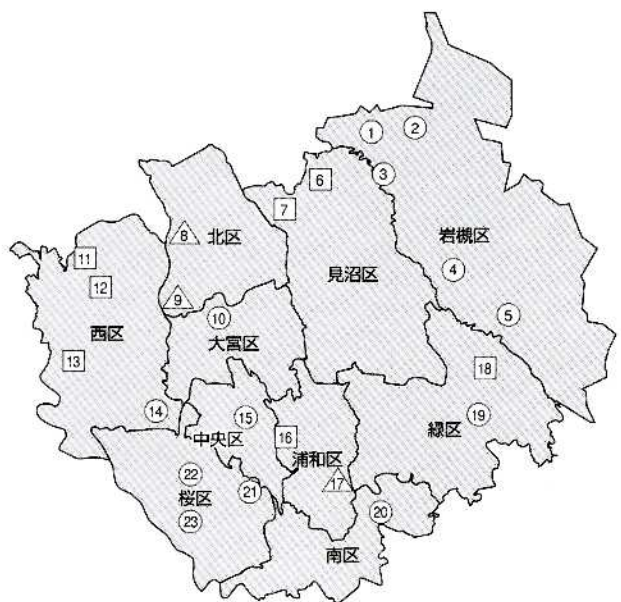
一方、「城」は本来、非常時に籠城するための避難用として「館」のそばに造られた山城に始まりました。戦国時代になり築城法の発展により居住施設を組み込み、執務も行える「館」の機能を併せ持つ平山城や平城が造られ出します。更に本拠となる城の周りには、防衛のための支城や家臣の館が点在していました。家臣の屋敷は小規模な居住施設として一般には館としていますが、小規模でも伝承で「〇〇城」というところが存在します。場合によっては防衛のための城というか砦のような役割を果たしたのかもしれない。

さて展示に話を戻すと、全体の分布図のあとには個々の城や館を案内図や写真、そして発掘調査の出土品で説明を行いました。展示した出土品は、表1のとおりです。陶器など多くの資料が破

図2. 戦国時代以外の城・館

	城館跡名	所在地
1 ○	平林寺跡	[岩槻区] 平林寺
2 ○	金重氏館	[岩槻区] 金重
3 ○	箕勺氏館	[岩槻区] 箕輪
4 ○	柏崎氏館	[岩槻区] 柏崎
5 ○	須久毛城	[岩槻区] 笹久保
6 □	大久保陣屋	[見沼区] 丸ヶ崎
7 □	砂陣屋	[見沼区] 東大宮1丁目
8 △	日進堀の内	[北区] 日進町3丁目
9 △	おはやし山	[北区] 日進町1丁目
10 ○	大成館	[大宮区] 大成町2丁目
11 □	中釘陣屋	[西区] 中釘
12 □	福田氏陣屋	[西区] 高木
13 □	永田陣屋	[西区] 土屋
14 ○	足立氏館	[西区] 島根・植田谷本
15 ○	落合陣屋	[中央区] 下落合6丁目
16 □	針ヶ谷陣屋	[浦和区] 北浦和2丁目
17 △	本太堀の内	[浦和区] 本太5丁目
18 □	文右衛門屋敷	[緑区] 南部領辻
19 ○	麻弥屋四郎館	[緑区] 間宮
20 ○	領ヶ谷城	[南区] 太田窪
21 ○	真鳥山城	[桜区] 西堀10丁目
22 ○	細沼屋敷	[桜区] 下大久保
23 ○	道場館	[桜区] 道場3丁目

- …戦国時代より前とされる城・館
- …戦国時代より後とされる城・館
- △…時期不詳(伝承のみ)



片でしたが、一堂に集められたのは初めてでしたし、市内にも戦国時代の歴史が存在している証拠として興味深く見ていただきました。

展示の最後に近隣市町の主な城館として、蕨城、伊奈氏陣屋(丸山城)、菅谷北城の紹介を行い、上尾市西通Ⅰ遺跡の出土品を補足展示しました。そして第一会場の紹介と、さいたま市立岩槻郷土資料館(岩槻区本町2丁目)の常設展示でも岩槻城関連の展示があることを表記して終わりとなりました。

展示会については以上ですが、ほかにも関連事業を幾つか行っています。11月3日(木・祝)に展示解説を時間をずらして各々の会場で行ったほか、市立博物館(大宮区)では関連講座を2回、岩槻城周辺を巡る岩槻城址探索ツアーを1回開催し

ました。当館では例年開催している文化講座を10月30日(日)に開催し、大村進氏に「戦国時代の岩槻城」と題した講演をしていただきました。どの事業も好評で、市民の関心の高さが伺われました。

最後に、今回の展示では主に時期違いということで扱わなかった「城」や「館」を図2にて紹介します。戦国時代より後の時代(江戸時代初期)は、徳川氏の旗本が各々陣屋を置いたあとです。また戦国時代より前の時代のものは、平安時代末期から鎌倉時代にかけてと、鎌倉時代末期から南北朝時代とされるものが多いですが、そのほとんどが伝承の域を出ないため、存在場所や時代を疑問視するものもあります。今後、発掘調査が行われる機会があればその答えがでるかもしれません。(S)

行事カレンダー 開館時間 9時～16時30分

☆企画展「ふるさとの遺産
—緑区の文化財—」開催中

会期 3月17日(金)から5月7日(日)まで
内容 浦和博物館のある緑区に伝わる文化財を写真パネルを中心に展示し、地域で大切に育まれた文化遺産を紹介します。

☆定例探鳥会〈毎月第3日曜日開催〉

(雨天中止)

会期 4月16日(日)・5月21日(日)・6月18日(日)
7月16日(日)・8月20日(日)・9月17日(日)
9時から12時(9時に当館集合)

日誌抄 (平成17年9月から平成18年3月まで)

- | | |
|---|----------------------------------|
| 9/4(日) 企画展「夏休み子ども博物館」終了 | 1/15(日) 定例探鳥会 |
| 9/5(月)～6(火) 展示替による休館(企画展→常設展) | 1/18(水) 資料寄贈1件 |
| 9/7(水) 常設展開催 | 1/20(金) 北浦和小3年体験学習 |
| 9/18(日) 定例探鳥会・団体見学1団体 | 1/24(火) 栄和小3年体験学習 |
| 10/2(日) 常設展終了 | 1/25(水) 芝原小3年体験学習 |
| 10/3(月)～7(金) 展示替による休館(常設展→特別展) | 1/25(水)～27(金) 中学生職場体験(美園中1年) |
| 10/6(水) 資料貸出1件 | 2/7(火) 第4回博物館協議会(市立博物館) |
| 10/8(土) 特別展「戦国時代のさいたま一城と館からさぐる」開催(第2会場) | 2/12(日) おもちゃ作り(体験教室)・昔のあそび(体験教室) |
| 10/11(火) 大原中3年見学・資料貸出1件 | 2/14(火) 浦和ルーテル小3年体験学習 |
| 10/14(金) 資料返却1件 | 2/17(金) 大久保東小3年体験学習 |
| 10/16(日) 定例探鳥会(雨天中止) | 2/19(日) 定例探鳥会 |
| 10/18(火) 川口市柳崎小4年体験 | 2/22(水) 団体見学1団体 |
| 10/25(火) 第3回博物館協議会 | 3/3(金) 三室小3年体験学習・団体見学1団体 |
| 10/30(日) 文化講座「戦国時代の岩槻城」開催 | 3/7(火) 資料貸出1件 |
| 11/3(木) 特別展展示解説開催 | 3/12(日) 企画展終了 |
| 11/4(金) 資料寄贈1件 | 3/13(月)～16(木) 展示替による休館(企画展→企画展) |
| 11/15(火) 本太小3年体験学習・資料寄贈1件 | 3/17(金) 企画展「ふるさとの遺産—緑区の文化財—」開催 |
| 11/16(水) 原山小3年体験学習 | 3/18(土) 団体見学1団体 |
| 11/17(木) 川口市青木中央小4年体験学習 | 3/19(日) 定例探鳥会 |
| 11/18(金) 川口市芝園小3年体験学習 | |
| 11/20(日) 定例探鳥会 | |
| 11/22(火) 団体見学1団体 | |
| 11/27(日) 特別展終了 | |
| 11/28(月)～12/1(日) 展示替による休館(特別展→企画展) | |
| 11/29(火) 資料返却1件 | |
| 12/2(金) 企画展「ちょっと昔のくらしの道具展」開催 | |
| 12/13(火) 資料返却1件 | |
| 12/18(日) 定例探鳥会 | |
| 1/7(土)～9(月) 昔のあそび(体験教室) | |

さいたま市立浦和博物館館報 あかんざす No.91
編集・発行 さいたま市立浦和博物館
〒336-0911 さいたま市緑区三室2458番地
TEL・FAX 048-874-3960
発行日 平成18年3月31日
ホームページ <http://www.city.saitama.jp>
E-mail urawa-museum@city.saitama.lg.jp

